



桃見台小学校 学校だより

桃風

令和3年度

No. 12

発行日 R3. 9.30 (木)

発行責任者 校長 鈴木 哲明

運動会・大成功！

天候が心配されましたが、6年生の整地のお陰で、校庭は最高のコンディションとなり、気持ちよく競技することができました。また、保護者の皆様のご協力により万国旗やテントの設営等素早く準備・後片付けができ、時間を短縮しての実施ではありましたが、盛大に開催することができました。本当にありがとうございました。

子どもたちは、この日に向けて練習を続けてきました。また、6年生を中心とした実行委員会等では、何度も集まっては検討を重ね、一つ一つ完成させてきました。コロナ禍にあって、様々な行事が中止・変更になる中、運動会を成功させようとする児童・教職員の願いは、とても大きいものでした。その気持ちが形に表れ、とても盛り上がった運動会になったと実感しています。

紅白どちらも最後まで譲らず、引き分けの同時優勝も情熱の表れです。講評にもあった通り、特に6年生の成長は目を見張るものがあります。運動会の日が近づくにつれ、心身共に成長していく様子がよくわかりました。この運動会を通して本当に頼もしい最高学年になりました。それを支えて下さった保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

ここで学んだことを今後の生活に生かせるよう桃見っ子を支援していきたいと考えます。



【1・2年：玉入れ】



【3・4年：台風の日】



【5・6年：桃小ダービー】

「令和の日本型学校教育」の構築へ

今後、社会の在り方が劇的に変わる「Society5. 0時代」や、新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」を迎えると言われていています。一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められています。

そのために、学校教育の中では、知・徳・体のバランスのとれた学習が大切です。学習指導のみならず、体育や道徳・特別活動（学校行事、児童会、クラブ等）などを学校教育の中で重視する我が国の教育は、諸外国から高い評価を得ています。（学校で清掃の時間があることに注目する外国の方も増えてきました。）

本校では創立以来、日本型学校教育の良さを取り入れ、智・仁・勇に示された桃園教育を地域と共に推進してきました。今後とも、ICT教育等、新しい課題を積極的に取り入れて、次世代に身につけるべき資質・能力を育てていきます。